



日本1の教育の町って、なに？



公教育無償化への一歩を進めてほしい

各学校一人当たり 平均保護者から集金費 (遠足・修学旅行・給食費・ 体操服・制服等)は除く)	
菅谷小	1万 1923 円
七郷小	1万 760 円
志賀小	1万 5136 円
菅谷中	2万 2000 円
玉ノ岡中	2万 3100 円

日本1の教育の町の政策	
図書館での学習 支援教室(塾)	303 万円
英会話指導授業 (新たに小3・4年)	824 万円
英検・日本語検 定補助	70 万 4 千 円
IT 推進事業	1896 万
パソコンの入れ替え	7 千円

- 小中学校の教材費を以前のように、保護者負担ではなく町が負担したい。
- 公教育無償化で父母が子どもの望むスポーツや芸術、語学等私教育にお金が使えます。経済的に苦しい家庭では、子どもの誕生日祝いや自転車購入にお金が出せません
- 公教育無償化で、教員も集金・支払いなどの事務作業より教育に時間をとれます。
- 学校教育に ITC 教育は一人一台使えるようにしてほしい

■ 学童保育が指定管理者制度になります。

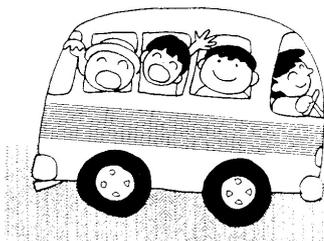
(6月契約、10月実施)・・・3月の当初予算では 4589 万円・・・

- 5つの学童保育所(菅谷小2・志賀小2・七郷小1)は同じ保育料で、一つの事業者による一括管理です。
- 志賀小学童保育—S55 年開所で、37 年
- 菅谷小学童保育—S57 年開所で 35 年
- 七郷小学童保育—H11 年開所で 19 年
経営が父母会から指定管理に移り父母の負担は軽減します。



＝利益追求の業者ではなく外出・自由な遊びを保障する事業者に委託を＝

■ 嵐山町小中学校適正規模検討委員会が始まりました。



- ・小学校 2 校・中学校 2 校にするのか、小学校 2 校中学校 1 校にするのか、小学校 1 校中学校 1 校にするのか
- ・嵐山町は、南北に細長く、遠距離を歩いて通学する小学生もいます。
- ・登下校のスクールバスと昼間の町内循環のためのミニバスは必要です。75 歳以上の運転免許を持たない人、障害のある人、妊産婦には、タクシー券の補助があります。本格的に町の公共交通を考えないと間に合わない！

■ 若い人に嵐山町・公の場で、議論し、活躍してほしい。

- 嵐山町で中高生や 20 代の人がかかわる場は、「成人の祝い実行委員会」のみです。嵐山町に若い人がかかわる場がありません。
- 若い人がまちづくりに参加しやすいよう「若者の意識調査」や「若者会議」を調査する委員会設置を H28 年 9 月から 5 回提案。すべて否決

今議会後半 29 年 10 月からの後半 2 年間、私・川口議員・河井議員の 3 人で総務経済委員会に所属。「若者会議」も調査事項に提案し決定。やっと議会で、若者の問題を調査します。若い人は非正規雇用増加で、生活は苦しい。いつの時代も若い人が新しい社会を切り開いてきました。若い人が、発言でき、町をリードすることができるよう考えます。

